



## 音訳ボランティア養成講習会テキスト 基礎課程編

B5 判・176 ページ(一部カラー印刷のページがあります)

本書は、2018 年度に全国視覚障害者情報提供施設協会が発表した「音訳奉仕員養成講習会カリキュラム」における「基礎課程」の習得を目標に、各種テキスト『音訳マニュアル 音訳・調査編 改訂版』『音訳マニュアル 処理事例集』『音訳指導マニュアル』『音訳テキスト 音訳入門編』などの内容を精査し、書き改めたものです。執筆・編集には、全国の視覚障害者情報提供施設(点字図書館)やボランティア団体などの専門スタッフで構成する録音委員会があたりました。

価格:1,210 円(税込)

©初版第1刷発行:2022 年9月1日

### 【目次】

#### 基礎課程

I 音訳の基礎(音訳とは、音訳ボランティア活動とは、音訳ボランティア活動をするために習得すべきこと、デージーとは)

II 音訳技術の活用とさまざまな支援活動(地元の図書館や「サピエ図書館」から提供する録音図書の製作、録音資料のプライベート製作、対面音訳、自治体広報紙の製作、訪問リーディングとは、同行援護における情報伝達)

III 音声表現技術の基礎(声の解剖、肺の仕組み、複式呼吸は大切?、日本語の発音、苦手な音をどう改善させるか、声のエクササイズ、声のチェックリスト、発音練習、アクセントについて、体調の管理)

IV 情報を正しく伝える読み方(何のために読むのか、音声表現技術の重要な要素、内容を伝える読みのポイント、まとまった文章を読む、耳を育てる、情報を正しく伝える読み方のまとめ)

V 処理技術の基礎(処理とは何か、処理の考え方、処理の方法、処理の実際、処理技術のまとめ)

VI 調査技術(調査の必要性、調査の進め方、辞書・施設・インターネットでの調査、文意に適した読みの選択、固有名詞の調査、調査技術のまとめ)

VII 校正技術の基礎(校正の目的、校正の基本、校正の方法、校正表の記入、音訳者の訂正、音訳者と校正者の関係について、校正技術のまとめ)

#### 付録

「音訳奉仕員養成講習会カリキュラム案」(抜粋)